



Surveying the Earth to Create the Future

株式会社パスコ 【9232】
2018年3月期 決算説明会

【2018年5月11日】



代表取締役社長 古川 顕一



Surveying the Earth to Create the Future

会社概要とセグメント情報

パスコグループ経営ビジョン

地球をはかり

未来を創る

人と自然の共生にむけて

地形を測る

価値を測る

気持ちを量る

寿命を計る

季節を計る

可能性を測る

被害を測る

未来をはかる

収集

蓄積

分析

空間情報

空間情報技術で社会の課題を解決

あらゆる視点から地球をはかる



加工・処理・解析 + IoT、AI、ビッグデータ



文化財管理

行政業務の効率化

インフラ維持管理

市場分析・予測

リスク管理・対策

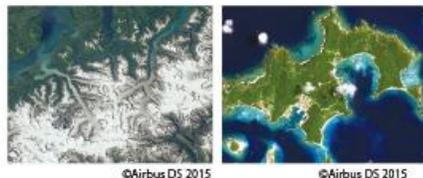
災害・環境対策

生産性向上

国土管理・保全

空間情報の収集力

宇宙



©Airbus DS 2015

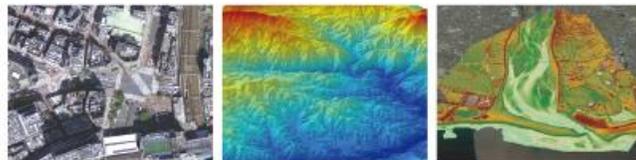
©Airbus DS 2015

人工衛星:20基 (取り扱い衛星数)

光学衛星 (モノクロ・カラー・近赤外画像)

合成開口レーダー衛星 (マイクロ波の反射強度画像)

空域

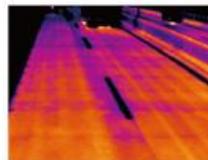


航空機:43機

垂直撮影 (モノクロ・カラー・近赤外画像)

垂直・斜め多重ラップ撮影 (3次元モデル自動生成)

レーザー計測 (地上・水底の3次元座標点群計測)



計測専用車両:23台

レーザー計測 (3次元座標点群計測)

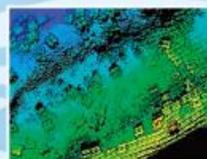
360°画像撮影・熱赤外画像撮影

地上

地上計測

方向・角度・距離計測

レーザー計測 (3次元座標点群計測)



測量船

音波計測 (3次元座標点群計測)

流速・水質計測

水域

※2018年3月末時点

パスコグループの事業インフラ

<アーカイブ>

航空写真・衛星画像
2次元地図情報
3次元都市モデル
道路3次元情報

<顧客>

【地方公共団体】
約1,200団体
地方公共団体数：1,788団体

【国内民間企業】
約2,980社

【海外】
約117ヶ国

<機材>

取り扱い人工衛星 : 20基
航空機 : 43機
計測車両 : 23台
その他

<人工衛星> 既撮影成果のみ販売：+9基
<航空機> 飛行機+ヘリコプター+ドローン

<知財>

<人財と拠点>

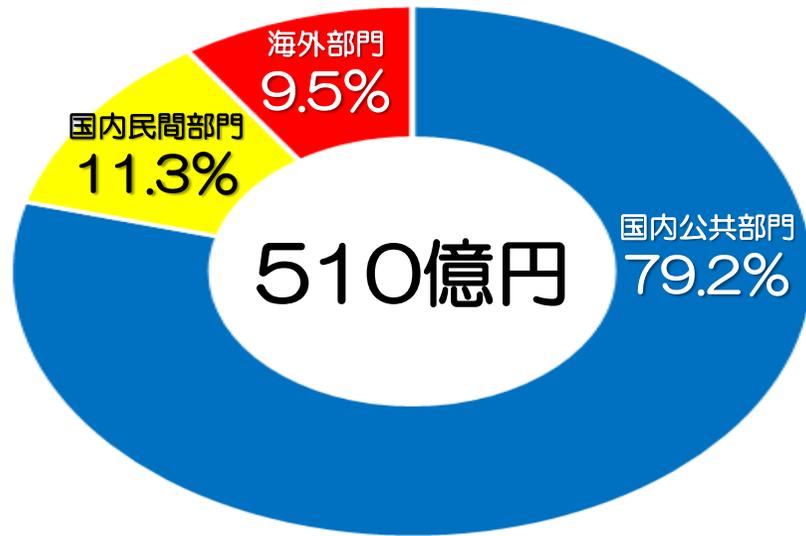
【連結従業員数】
2,730名（技術職：約1,860名、営業職：約670名）

【営業・生産拠点】
世界8ヶ国、国内47都道府県に配備

<ブランド>

※2018年3月末時点

セグメント別売上構成



国内公共部門

行政機関を顧客とする空間情報事業

- 行政業務の効率化支援
- 固定資産税評価関連業務
- 道路、上下水道などのインフラ維持管理業務
- 都市計画・防災計画の策定業務
- 住民サービスの向上と地方財政の健全化支援など

海外部門

世界で展開する空間情報事業

- 国土空間データ基盤整備（航空撮影、地図整備等）
- 環境保全・災害対策
- 道路維持管理
- 高精細航空写真を使った不動産管理（先進国）など

国内民間部門

民間企業を顧客とする空間情報事業

- 物流の効率化支援
- 企業の自然災害対策支援、BCP策定支援
- 出店計画や商圈分析などのエリアマーケティング支援
- 営業行為の効率化支援など



Surveying the Earth to Create the Future

事業活動の状況

2018年3月期〈基本方針〉

信頼される経営基盤のもと、空間情報の能力を最大限に引き出し、

既存事業を拡大

公共・民間・海外事業における
既存の事業領域を拡大

生産性を向上

パスコの未来に投資する
利益を確保

未来市場を創出

次世代の社会システムにおける
未知の市場を開拓

計画遂行のために解決しなければならない課題

財務体質の強化

人材育成と適材配置

技術力の向上と知財

2018年3月期<基本方針>

3つの施策

既存事業を拡大

生産性を向上

パスコの未来に投資する
利益を確保

**【第1の施策】
全社最適化を
促進する**

未来市場を創出

次世代の社会システムにおける
未知の市場を開拓

【第2の施策】

既存技術・事業の
活用範囲を拡大する

業務体制の

【第3の施策】

未来市場を探る

【第1の施策】

全社最適化を促進する

管理体制の強化

働き方改革
リスク管理体制の強化

技術力の競争優位性向上

技術力を生かした
新たなソリューションの創出

企画力の向上

事業企画部門の新設と活動推進

海外展開の最適化

海外グループ会社の経営最適化
パスコが担うべき事業へ集中

【第2の施策】

既存技術・事業の活用範囲を拡大する

地方財政の健全化支援

オープンデータの活用推進
統合インフラマネジメントの推進
河川・森林事業の推進

新技術の活用推進

衛星×AIソリューションのサービス開始
i-Construction向けサービスの充実
ダイナミックマップ基盤の構築
3Dデータアーカイブの活用推進

継続契約型ビジネスの拡大

自治体用「PasCAL for LGWAN」の拡販
物流業務の効率化向けソリューションの拡販

防災・減災事業（TOPICS）

<草津白根山> 新たな火口列を捉える
<霧島山系新燃岳> 溶岩ドームの拡大を捉える

【第2の施策】 統合インフラマネジメント・オープンデータ活用推進

統合インフラマネジメント

限りある財源で
最適なインフラマネジメントを目指す！

インフラの老朽化

財源不足

少子高齢化

2013年11月

インフラ長寿命化基本計画

公共施設等総合管理計画

↑ 不断の見直し・改訂 ↓

個別施設毎の長寿命化計画
(個別施設計画)

Mappin' Drop

26団体で導入が決定！
ワークショップでの利用など、新たな事業へ展開中

ワークショップの開催例

小さい春、みつけた！



撮影！

スマホで投稿！



シールで持って帰れる！

【第2の施策】 河川・森林事業を推進

日刊建設工業新聞 2018年2月14日（水）3面

■ 革新的河川管理プロジェクト （レーザードローンの研究開発）

陸上部レーザー計測成果の実証
水中部を含むレーザー計測技術の確立を目指す



■ 森林環境税の創設を踏まえた 森林新市場への戦略的な対応

林地台帳+GISクラウド+レーザー計測の複合による
トータルソリューションを提供

【PASCOのトータルソリューション】



- ◆ 森林情報の効率的な収集
- ◆ 森林情報の共有化
- ◆ 森林情報の管理・更新
- ◆ 森林情報の活用

【第2の施策】 i-Construction・ダイナミックマップ基盤

■i-Construction（3Dデータの活用による工事現場の生産性向上）

通期で134件の案件を受注

【2018年度の活動方針】

- ・ドローン測量ツールの提供により、パートナーとの協業強化>>受注拡大
- ・3次元モデリング業務体制構築によるサービス範囲の拡大

■ダイナミックマップ基盤

全国の高速・自動車専用道路3万km
2018年度中の完成を目指し整備中

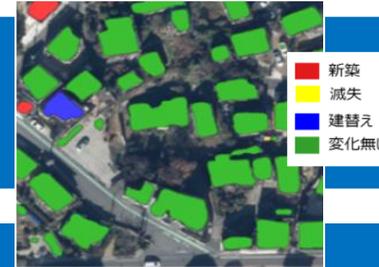


【第2の施策】 衛星技術とAI技術で新たなソリューションを提供

＜衛星画像×AI技術の活用＞

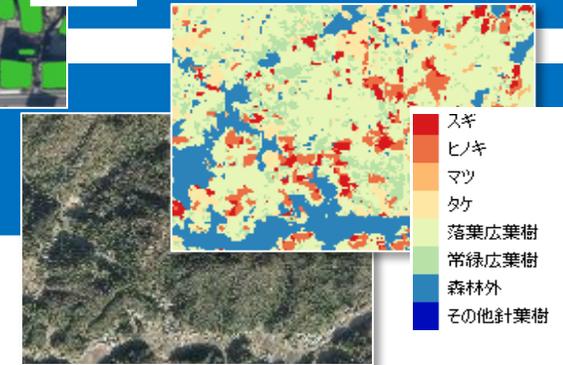
■ 固定資産建物異動判読業務に活用

固定資産建物の経年異動判読の工数を短縮



■ 森林樹種判読業務に活用

森林簿の樹種・樹高などの精度向上により施業管理を適正化



＜SAR衛星画像の活用＞

■ 地下工事時の地盤沈下監視に活用

時系列の干渉SAR解析により高精度で地表面の変位を把握



■ 山間部の地すべり等の予兆監視に活用

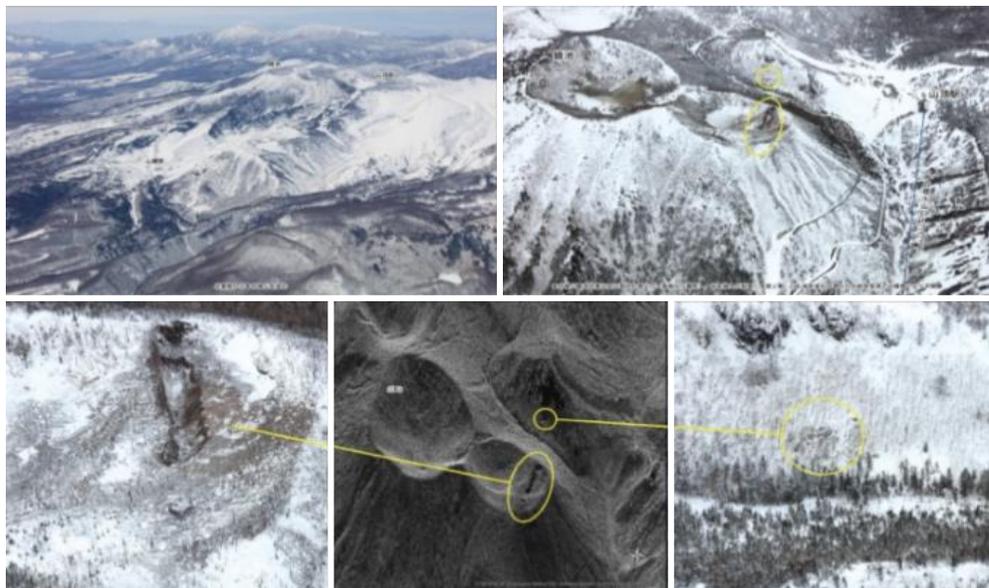
SAR衛星画像を用いて面的な地盤変動箇所を抽出



【第2の施策】 災害緊急撮影：迅速な状況把握に貢献

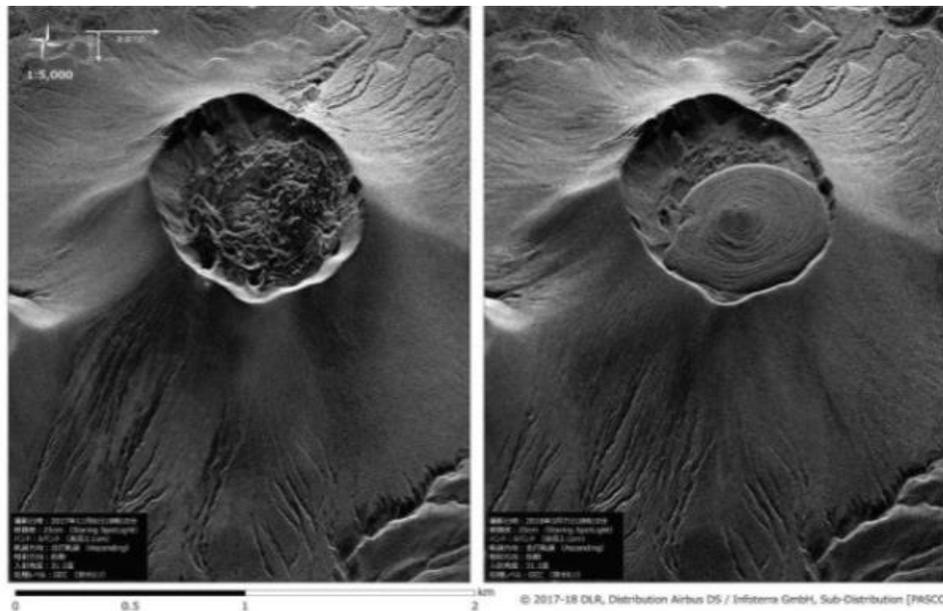
草津白根山

SAR衛星の撮影能力により、
噴火直後の悪天候の中、火口列を発見しました。



霧島山系新燃岳

過去のアーカイブ画像との比較により、
溶岩ドームの拡大状況を捉えました。



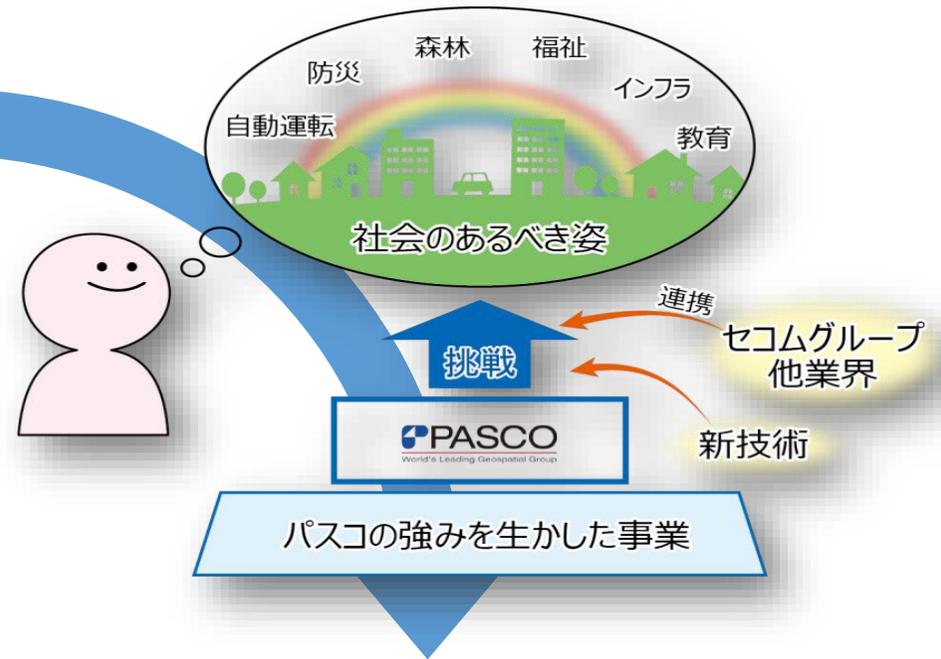
噴煙や悪天候下の雲を透過するSAR画像の特徴と、
平常時のアーカイブ画像との比較で地形変化を把握しました

【第3の施策】

未来市場を探る

従来

パスコの強みを生かし、
当社の枠の中で対応できることに取り組む



セコムとパスコの共同実験
「シカ食害対策」の実証実験を開始



新たな挑戦

社会のあるべき姿を実現するためにすべきことを
企業の枠を越え、セコムグループや他業界と取り組む

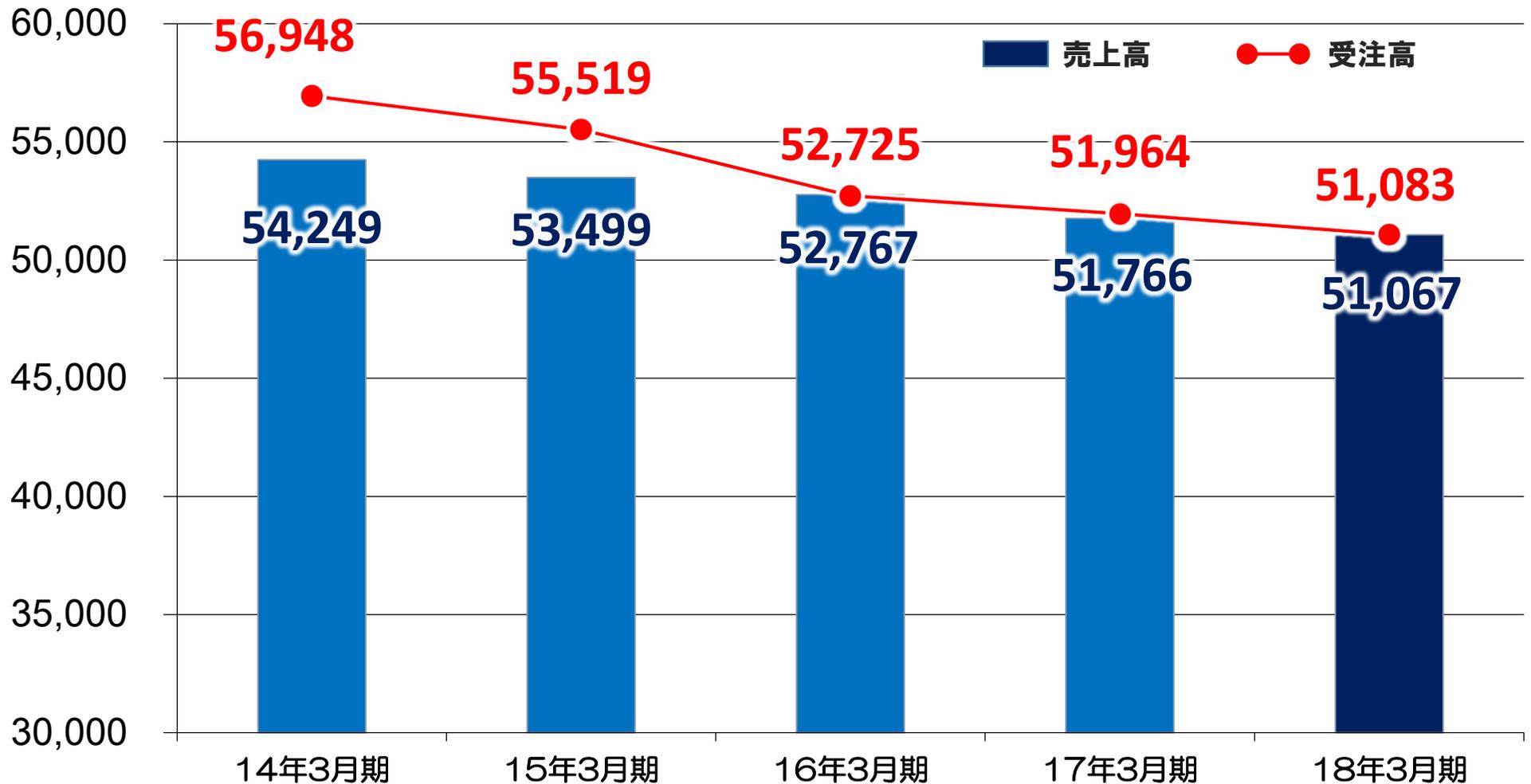


Surveying the Earth to Create the Future

〈2018年3月期 連結累計期間〉 財務ハイライト

連結売上高と受注高の推移

(単位:百万円/百万円未満切捨て)



セグメント別決算概要

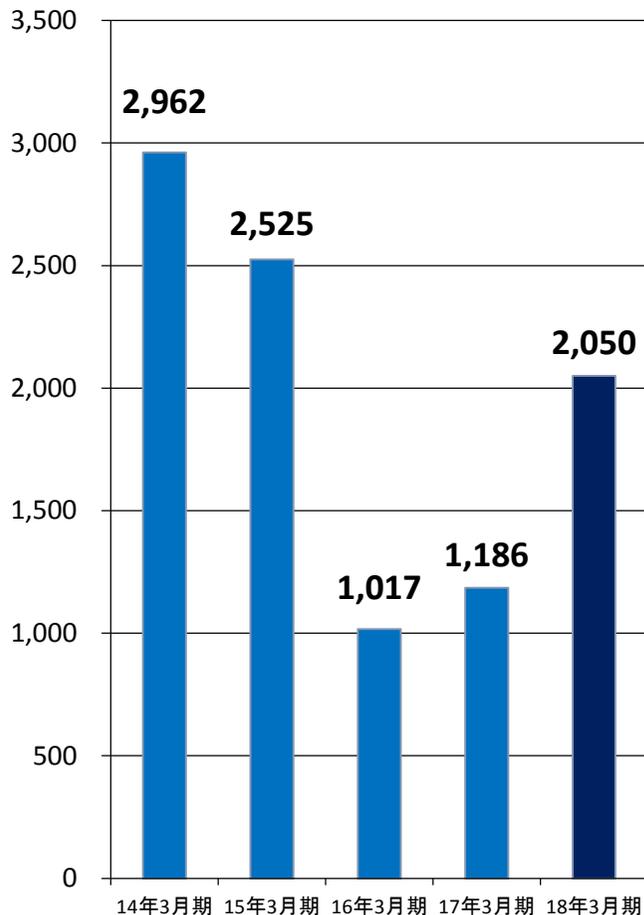
(単位:百万円、百万円未満切捨て)

	2018年3月期連結累計期間				受注残高	
	受注高	前年同期比	売上高	前年同期比	残高	前年同期比
国内部門	46,522	-2.1%	46,246	-0.1%	17,415	1.6%
(公共)	40,279	-4.0%	40,460	-1.3%	12,178	-1.5%
(民間)	6,242	12.5%	5,786	9.9%	5,237	9.5%
海外部門	4,561	2.3%	4,820	-12.1%	3,043	-7.4%
合計	51,083	-1.7%	51,067	-1.4%	20,459	0.2%

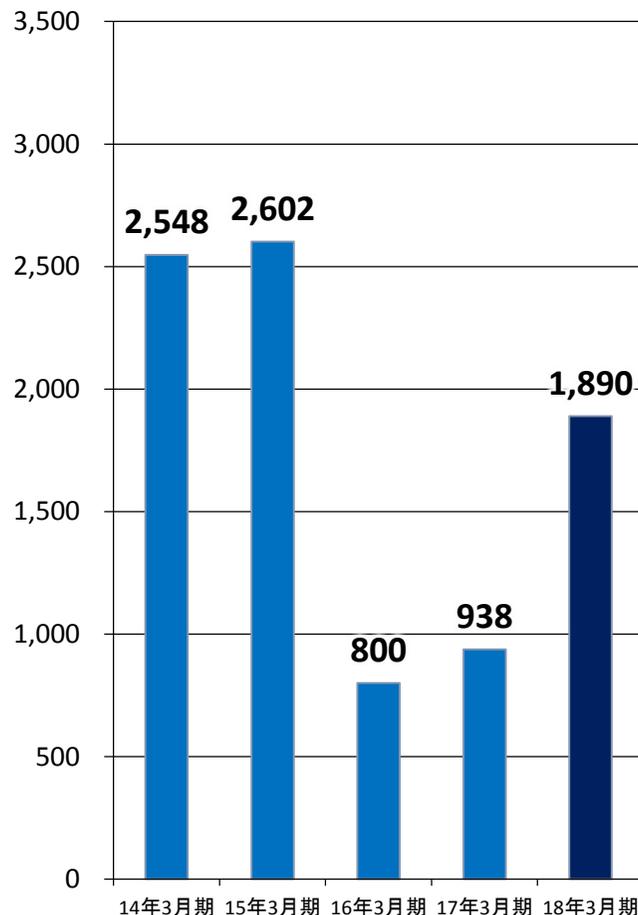
財務ハイライト：利益

(単位：百万円/百万円未満切捨て)

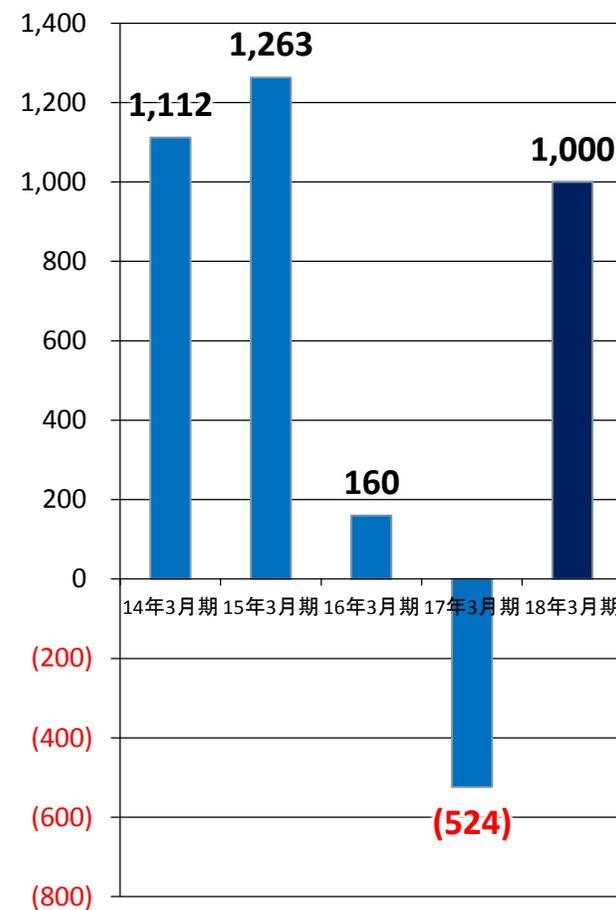
【営業利益の推移】



【経常利益の推移】



【当期純利益の推移】





Surveying the Earth to Create the Future

パスコグループ中期経営計画 2018-2022

～ 持続的な企業成長に向けた利益体質への変革 ～

「パスコグループ中期経営計画 2018-2022」より

パスコグループ経営ビジョン

地球をはかり

未来を創る

人と自然の共生にむけて

地形を測る

価値を測る

気持ちを量る

寿命を計る

可能性を測る

被害を測る

季節を計る

未来をはかる

収集 蓄積

分析

空間情報

「パスコグループ中期経営計画 2018-2022」より

持続的な企業成長に向けた利益体質への変革

<目標>

2022年度 グループ連結営業利益額を倍増
(2017年度のグループ連結営業利益額20億円から40億円に)

<方針>

データ流通社会の到来に向けた事業戦略の転換

空間情報の可視化・分析・流通を中心とした新たなサービスモデルへの事業シフト
継続契約型ビジネスと業務請負型ビジネスとの両輪による事業展開

新たな空間情報の活用を見据えた将来への投資

AI、IoT、ロボティクス、ブロックチェーン等の
次世代ツールの導入による自動化、高度化の実現

「パスコグループ中期経営計画 2018-2022」より

中期経営計画の骨子

ビジネスモデルの転換

- ① 公共・民間・海外・衛星事業ドメインの相互連携による新たな事業展開
- ② 既存事業の商品やサービスのさらなる深化
- ③ 継続契約型ビジネスのさらなる加速化

新たな事業領域への挑戦

- ① 事業の開拓や創発による新領域や新事業への挑戦
- ② 付加価値サービスの提供
- ③ オープンデータ化にともなう新たな官民連携モデルの創出

技術の革新と継承

- ① 高頻度・高精度な空間情報処理技術への挑戦
- ② AI、IoT、ロボティクス、ブロックチェーン等による技術革新
- ③ イノベーション人材・グローバル人材の育成

経営基盤の強化と企業価値の向上

- ① 働き方改革の推進
- ② 財務体質の強化
- ③ 社会や地域への空間情報サービスの提供

「パスコグループ中期経営計画 2018-2022」より

パスコグループの目指す姿

自動化技術の確立により、付加価値サービスを提供

【自動化技術への挑戦】

- 高頻度・高精度な空間情報処理を実現
- 差別化とコスト削減
- 付加価値の創出

くらべる

変化抽出

みせる

3次元化

ひろめる

プラットフォーム構築

2022年のパスコグループの姿

【目指すサービス】

- 自治体経営支援
- 自動運転支援
- インフラ・アセットマネジメント
- 土地関連情報の集約 等

測量・調査 / 提供

現在のパスコグループの姿

空間情報マネジメント

未来のパスコグループの姿

はかる

測量、衛星測位、MMS等

しらべる

航空写真、衛星画像等

とどける

クラウドサービス等

測量・調査

分析

提供

可視化

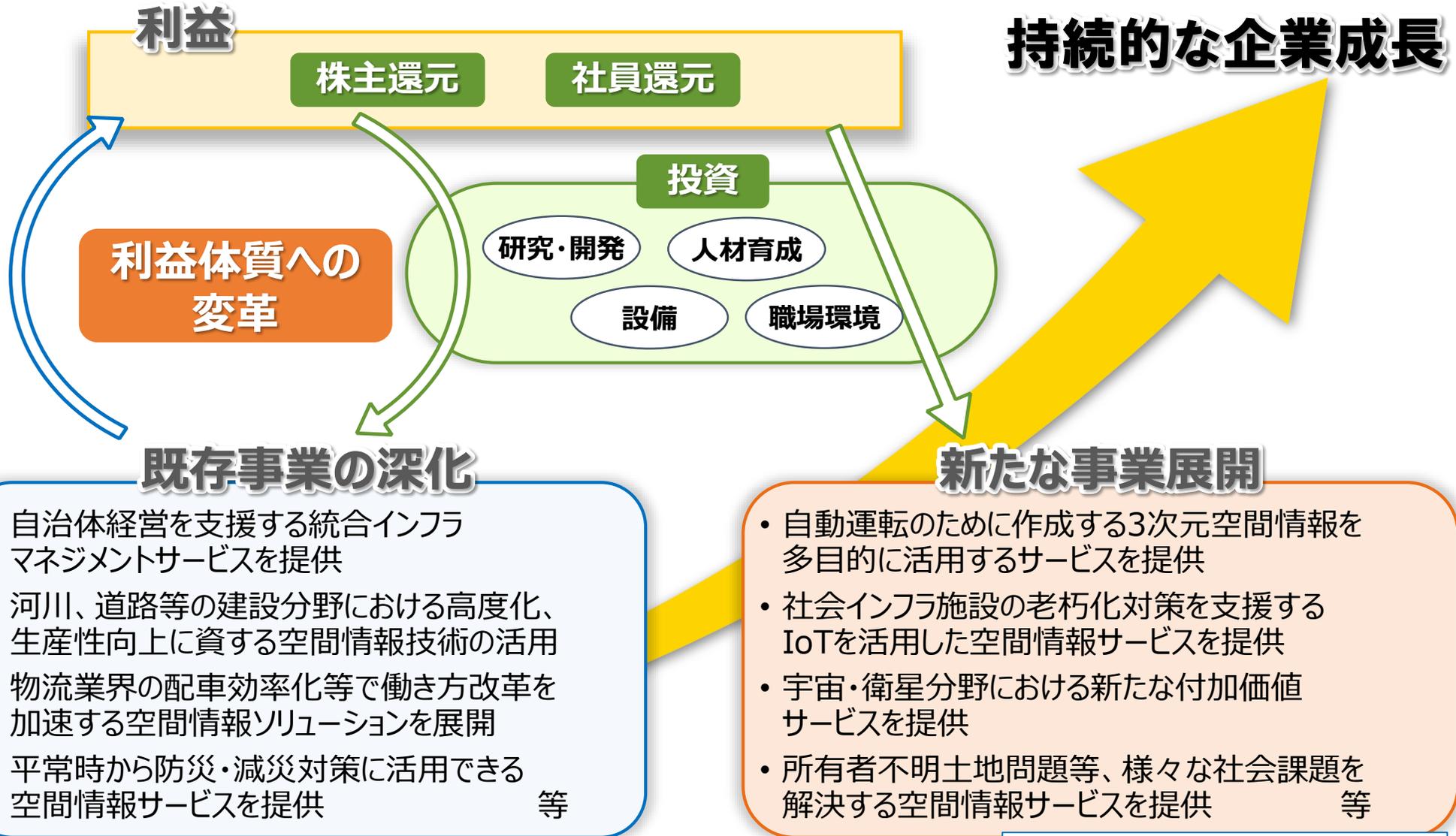
流通

地図・写真等を提供するのみではなく、そこから得られる知見を商品・サービスとして流通させる

変化する社会をリアルタイムに反映させる空間情報の仕組みの構築

「パスコグループ中期経営計画 2018-2022」より

目標達成に向けた考え方



「パスコグループ中期経営計画 2018-2022」より



Surveying the Earth to Create the Future

2019年3月期 計画 <基本方針と業績予想>

2019年3月期〈基本方針〉

持続的な企業成長に向けた基盤を構築 ～利益体質への変革～

中期経営計画の初年度として、
前年度の「3つの施策」を継続し、安定的な事業拡大を目指す。

【第1の施策】 全社最適化を促進

【第2の施策】 既存技術・事業の活用範囲を拡大

【第3の施策】 未来市場を探る

2019年3月期<重要戦略>

【第1の施策】 全社最適化を促進

生産性の向上

財務基盤の強化

働き方改革

【第2の施策】 既存技術・事業の活用範囲を拡大

計測技術の
応用範囲の拡大

建設・物流・自動車分野の
効率化支援

公共施設・インフラの
健全化支援

【第3の施策】 未来市場を探る

協業・連携強化

事業創出企画の
活性化

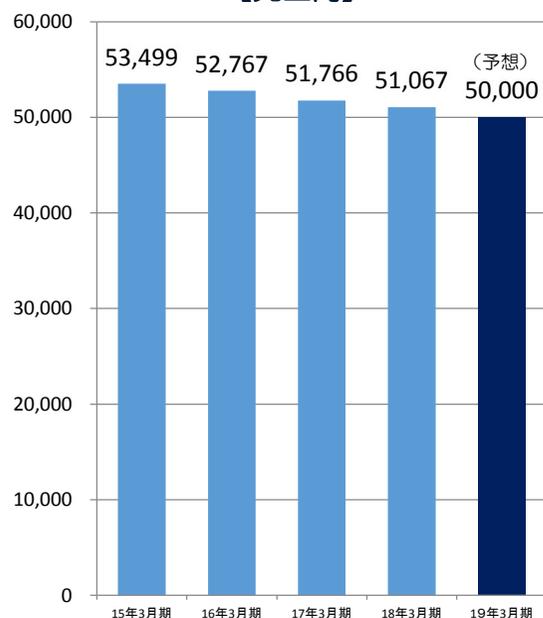
グローバル・イノベーション
人材の育成

2019年3月期 連結業績予想

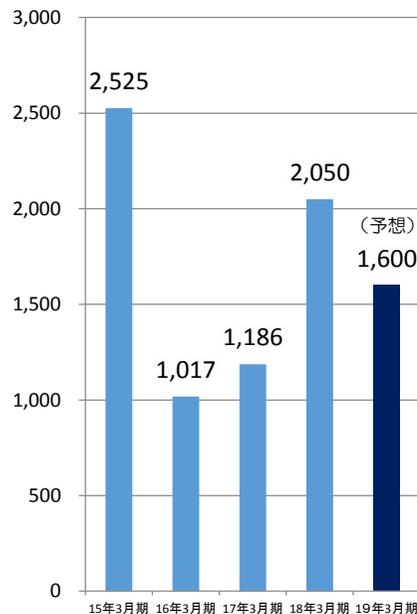
(単位：百万円/百万円未満切捨て)

	2018年3月期実績	2019年3月期計画値	前期比増減	
売上高	51,067	50,000	-1,067	-2.1 %
営業利益	2,050	1,600	-450	-22.0 %
経常利益	1,890	1,300	-590	-31.2 %
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,000	800	-200	-20.1 %

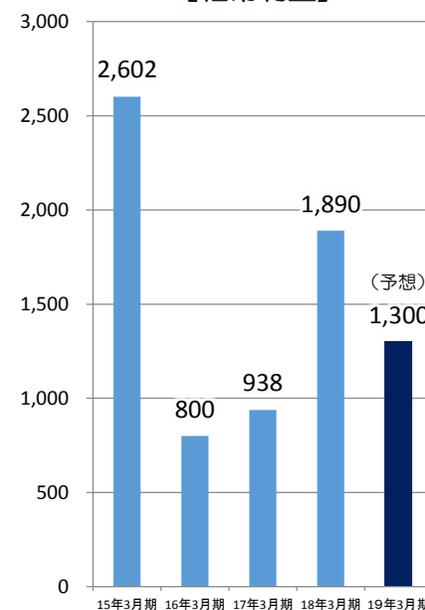
【売上高】



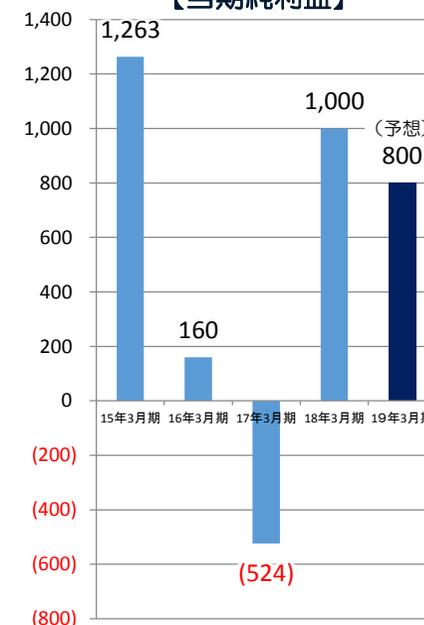
【営業利益】



【経常利益】



親会社株主に帰属する
【当期純利益】





Surveying the Earth to Create the Future

株式会社パスコ <会社プロフィール>

- 【創業年月】 1953年10月
- 【事業所】 本社 東京都目黒区（全国57事業所）
- 【代表者】 代表取締役社長 古川 顕一
- 【資本金】 87億5,848万円（2018年3月末現在）
- 【連結売上高】 510億円（2018年3月期）
- 【従業員数】 連結：2,728人、単体：2,068人（2018年3月末現在）
- 【グループ会社】 連結子会社：19社、関連会社：3社（2018年3月末現在）
連結内訳：国内8社、海外11社（ベルギー、アメリカ、インドネシアなど）
- 【主な株主】 セコム株式会社（議決権比率72.6%）

■IRに関するお問い合わせ E-mail：9232-IR@pasco.co.jp

本資料のいかなる情報も、弊社株式の購入や売却などを勧誘するものではありません。

本資料に記載された今後の戦略や予測等は、資料作成時点において弊社が合理的と判断したものです。

実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があり、そのとおりに実現することを保証するものではありません。また、本資料は今後予告なしに変更されることがあります。

万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は一切責任を負いませんのでご承知おください。